

協働の機会提案書(継続提案用)

平成28年9月26日

印西市長 板倉 正直様

(登録者) 登録番号 17-002
名 称 NPO 法人小林住みよいまちづくり会
所在地 印西市小林北 2-9 コスモプラザ 2 階
代表者職氏名 理事長 高橋 誠 ㊞
連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	道作古墳群歴史広場の維持管理事業
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	維持管理業務の活動上の問題点は特にはないが、地域の皆様が散歩の途中、休日の憩いの場として、いかに気楽に立ち寄って頂けるか、そして景観上も素晴らしいと思っていて頂けるよう更に美しい広場にする余地がある。更に、広場までの周辺からの散策路の整備を図っていく必要があると考えている。
提案理由	11年以上にわたる道作古墳群の草刈りの実績、広場に近いという地の利を活かし、きめの細かい維持管理を今後も継続したい。特に、広場全体、導入路の整備を更に進め、より多くの皆様に行き易く愛されるスポットになるよう変えていきたい。
提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)	前年度の業務(墳墓及び広場の草刈り、樹木除伐、落葉かき、機材管理、文化財普及イベント、市民の声を聞くためのアンケート調査、HP・機関誌などによる広報活動)を継続する。新たに、アンケート結果から出た意見等を反映するため、広場周りの土手への植栽を行い景観上の向上も図ることとする。
貴団体の特性、協働 で実施するメリット	11年間道作古墳の草刈りを実施してきており、メンバーが古墳群に近いところ居住しているため、日常の監視、維持管理業務がし易い。また、機材、イベント設備も従来からのボランティア活動で所有、準備しており、順応性が高い。更に、メンバーの人的資源が多彩、豊富であり臨機応変に対応でき有効活用ができています。
継続実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)	“見違えるような広場”になったという評価を得るとともに、アンケート結果でもあるようにこの地域の「歴史」を改めて感じ取って貰っているという印象を受けている。日々の散策にも利用している方々が多くなりつつある現在、散策路の整備、景観向上、郷土の歴史意識の啓蒙を更に進めたい。

協働事業計画書			
事業名	道作古墳群歴史広場の維持管理事業		
事業の目的	古墳群と広場の草刈り、樹木管理、清掃、文化普及イベントに加え周辺道路等を整備し、より多くの市民が安全に憩えるふれあいの場にする。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 文化財の保護・活用 (部署名) 教育委員会 教育部 生涯学習課		
事業期間	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	○墳墓・古墳広場の草刈実施 ○樹木の管理 ○広場全体の清掃 ○建物と機材の管理 ○古墳導入路となる周辺道路整備 ○文化財普及イベントの共同開催 ○HP・機関誌等による広宣活動 ○地域住民のニーズ調査 ○古墳を軸に郷土の歴史意識の啓蒙	○管理についての相談・協議 ○文化財普及イベントの共同開催 ○古墳出土品の展示・説明 ○「広報印西」等による広宣活動 ○道作古墳パンフレットの作成	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	60,000 円		1,013,000 円
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	草刈作業等に従来から経験を積んでいる20名程度が従事しており、労働安全衛生特別教育(刈込機、チェーンソー)、防火管理者、衛生管理者、危険物取扱者、電気主任技術者、施工管理技士、建築士、公害防止管理者、農作物耕作などの資格、スキルを有している。		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	人的資源などの特性を有効活用できる。各団体の中心的立場に属している者が多く、機会あるごとに情報発信が出来る。	景観も美しく市民が安心して憩える広場になり、またイベント等を通して、道作古墳を核にした一帯の郷土の歴史意識を高めることが出来る	歴史広場に関する市民の評価や意見を維持管理に反映できる。また、経費が大幅に削減できる。
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	市へ事業の進捗状況及び実績を報告するとともに、メール、電話で随時情報交換している。		
事業の周知や評価の方法	HPには「道作古墳」のページを設け随時情報発信している。アクセス数は平均で月100アクセス。機関誌(瓦版)も半期ごとに道作古墳関連の記事を掲載し約900部を、各町内会、学校、団体等に配布し周知。年2回の文化財イベント開催時にアンケート調査を実施し、「市民の声」として自己評価、改善を図ると共に市に報告している。		
備考	関係団体等		
	その他(添付書類等) ①機関誌(瓦版) ②当会の紹介パンフ ③遺跡・古墳歴史図		

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費（無償分を含む） 金 1,776,000 円市から団体への委託費 （金 1,013,000 円）

【歳入】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費(*1)、 車両費、機材費、保険料、管理費、焼却費	1,013,000
その他収入		
提案者負担分	春、秋2回の文化財普及イベントに関わる人件費(*2)	60,000
無償労働力等換算金額	人件費 583,000 機材費 120,000	(703,000 円)
合計（無償分を含めない）		1,073,000 円
無償分を含めた合計額		(1,776,000 円)

【歳出】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	(円)	見積り金額(円)
人件費 *1	墳墓草刈り:面積 1,770 ㎡×44 円/㎡×4 回/年 古墳広場草刈り:面積 1,794 ㎡×44 円/㎡×6 回/年 広場刈草集め:10 人時/回×1,000 円/人時×6 回/年 樹木枝下ろし・除伐:10 人時/回×1,000 円/人時×2 回/年 落葉かき・枯枝処理:10 人時/回×1,000 円/人時×2 回/年	311,000 473,000 60,000 20,000 20,000	884,000
人件費 *2	春の見学会:1,000 円×30 時間=30,000 円 秋の見学会:1,000 円×30 時間=30,000 円		60,000
車両費	軽トラ:11 回/年×3,000 円/回		33,000
機材費	チェーンソー、プロワー:10 回/年×1,000 円/回		10,000
保険料	傷害保険、賠償保険		44,000
管理費	建物・機材点検:12 回/年×500 円/回		6,000
焼却費	刈り草・枯枝・落葉:230kg/回×8 回×20 円		36,000
提案者が負担する無償労働力	瓦版・HP作成(18 回):276 人時/年×1,000/人時 アンケート調査(2 回):76 人時/年×1,000/人時 周辺道路等の草刈り:面積 410 ㎡×44円/㎡×7回/年 周辺道路等の草集め:7 人時/回×1,000 円/人時×7回/年 道路等の枝拾い:8 人時/回×1,000 円/人時×4 回/年 植栽(土手部分):8 人時/回×1,000 円/人時×3 回/年	276,000 76,000 126,000 49,000 32,000 24,000	(583,000 円)
提案者が負担する無償機材	春の見学会:テーブル、テント、椅子等(野点、出土品展示) 秋の見学会:テーブル、テント、椅子等(出土品展示、説明会)	60,000 60,000	(120,000 円)
合 計(無償分を含めない)			1,073,000 円
無償分を含めた合計額			(1,776,000 円)

以上、千円未満端数は切り捨て

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	必要経費	参加人数
4 月上旬	春の道作古墳群見学会 (提案者負担分)	30,000 円	120 名
4 月中旬	道作古墳群 広場草刈り (機関誌 瓦版発行)	98,000 円	10 名
5 月中旬	道作古墳群 墳墓草刈り	76,000 円	10 名
6 月上旬	傷害・賠償保険契約	44,000 円	
6 月中旬	道作古墳群 広場草刈り	86,000 円	10 名
7 月上旬	道作古墳群 墳墓草刈り	65,000 円	10 名
7 月中旬	道作古墳群 広場草刈り	84,000 円	10 名
8 月中旬	道作古墳群 広場草刈り	95,000 円	10 名
9 月上旬	道作古墳群 墳墓草刈り	80,000 円	10 名
9 月中旬	道作古墳群 広場草刈り	90,000 円	10 名
10 月上旬	(機関誌 瓦版発行)		
10 月中旬	道作古墳群 墳墓草刈り	77,000 円	10 名
10 月下旬	道作古墳群 広場草刈り	90,000 円	10 名
11 月中旬	秋の道作古墳群見学会 (提案者負担分) (小林ウオーキングと同時)	30,000 円	100 名
12 月中旬	ひこばえ除伐・落葉かき	42,000 円	10 名
1 月	点検・ごみ拾い	18,000 円	6 名
2 月	点検・ごみ拾い	18,000 円	6 名
3 月	落葉かき・点検・ごみ拾い	44,000 円	10 名
毎月	建物・機材点検、周辺点検	6,000 円	1 名
	状況により随時、環境維持のための措置を実施		
		合計 1,073,000 円	

ホームページ
は随時更新。
月 2 回～3 回

企画提案型協働事業 道作古墳群歴史広場の維持管理事業

平成２８年度最終審査 委員会総合意見

- 1 文化財の保全活用によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。郷土の歴史・文化の新たな発信拠点となるよう、提案者と市の取り組みに期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

やっぱり広報

- ・市と協力して、広報ツールを整えてより多くの人に来てもらえる発信をしてほしい。
- ・まだまだ認知が少ないので広報活動を強化願いたいこと及び、考古学関係の学界やその他関係団体との連携も図っていただきたい。
- ・見学会の来場者を更なる動員増加を見込める活動をお願いします（小林地区外からの動員）。
- ・協働事業として価値が認められるので多くの市民に知って頂けるようにHPや広報誌の内容について市と協働で充実して行くよう努力して頂きたい。（出土品や文化的意味についても広報して頂きたい。）
- ・道作古墳群を活用した種々の活動が、地域自治会のみに留まらず、印西市全域に周知されるよう、継続的に検討して下さい。

市との協働で周知・歴史ロマンを多世代に

- ・アンケート結果の反映、審査員の意見の反映等、取り込んで取り組みをしていることは素晴らしいことだと思います。これからも周りの意見等の反映宜しくをお願いします。
- ・市役所へのお願いです。交流の杜の歴史資料センターには、小林古墳群の出土はあるが、これだけ規模の大きい古墳群の紹介をもっとして欲しい。
- ・ロマンを感じさせる資料はもう少し濃いものにしていただきたい。（地理の勉強より歴史の部分を実践してみたい）
- ・行政との協働、特に市側が何をやっているかが見えてこない。協働であれば、市は〇〇をしているということがはっきりと示される必要がある。
- ・HP、瓦版を拝見し、手入れの様子より、長年の活動の御苦労が伝わってきます。事業内容もアンケート結果を反映できるよう具体的だと思い、継続の意義を感じます。より市民にとって安心できる場となるよう続けて下さい。学校に出張講座に行くなど広めていくことはとてもよい方法だと思います。

期待してます

- ・貴法人の他の事業との連携をさらに強めることにより、当事業のソフト・ハード面での拡充をめざして下さい。
- ・メンバーの人的資源活用、ボランティアの組織化がこの事業の強みです。⇒継続を期待しています。
- ・市民の憩いの場として、気楽に立ち寄れるようさらなる整備をお願いします。（例えば、常設の簡易トイレの設置など）
- ・印西の歴史のロマンを広く印西市民に知らしめていく活動は、それに関連するイベントとともに、地味な協働事業であるが、重要な維持管理事業を続けていると思われる。